

切削加工

金型

鋳造



●精密ダイカスト部品の企画設計・製造販売

## 田中精工株式会社

▶TEL: 0774-25-1166 FAX: 0774-24-0134

▶URL: <http://www.tanakaseiko.co.jp/>

### マンパワーで、顧客の“欲しいもの”をカタチに



提案営業を重要視。顧客のところへ直接技術者が赴き、会話の中から顧客が今求めているものを見出し、それをカタチにして提案している。顧客が欲しいと思えば、従来のダイカスト部品の概念を覆すようなサイズ感でも積極的に取り組む柔軟性と、確かな技術に裏打ちされた高い応用力を兼ね備えている。



使用素材は、亜鉛、アルミニウムなどの非鉄金属とその合金。  
10mm以下アルミダイカストの製品化を実現する。



田中精工独自のノウハウが詰まった、一貫生産システム。

#### 事業概要と躍進の契機

#### CIM指向一貫生産システムを構築。独自路線を歩む製造メーカー

1946年、田中商店として創業。当時はダイカスト部品の切削加工を行っていたが、金型、鋳造と事業を拡大。現在は、従来のダイカスト関連企業が分業していた金型づくりから加工までを一貫生産できるシステムを構築し、高品質なダイカスト精密部品（制御機器、OA機器、FA機器、車載関係など）の企画設計、製造販売を行っている。これは、65年の長きに渡り、金型、鋳造、ダイカスト部品の切削加工の分野で技術や知識、経験を培ってきた田中精工だからこそできる体制である。

#### 会社の強み・主力商品など

#### 特異な超小物、中小ロットの精密ダイカスト部品が主軸

ダイカスト部品＝大量生産というイメージを払拭し、数十個からの小・中ロットの精密ダイカスト部品生産を得意とする。用途はセンサーやスイッチの部品などで、精密さを要求される電子機器に使用されることが多い。さらに指先くらいの超小物ダイカスト部品の製造も特筆すべきポイントである。また、独自のEDI活用型品質管理システムおよびCIM指向一貫生産システムにより、顧客の要望に適切な技術を提供し、コスト削減にも寄与。顧客の立場に立った“ものづくり”をつねに考え、社内のものでづくり環境整備にも力を注いでいる。

#### 今後の事業展開

#### 日本国内の隠れたニーズを掘り起こし、ビジネスにつなげる

ダイカスト部品の70%が自動車関連部品として消費される中、田中精工がめざすのは、医療・環境分野への進出である。例を挙げると、医療分野では怪我をした時に足や肘に装着する補助具、環境分野では排ガスCO<sub>2</sub>検知器の部品として精密ダイカスト部品をアピール。新しいニーズを自らがつくり出していく意向だ。

#### ●企業プロフィール

〒611-0041 京都府宇治市横島町目川129-1  
代表取締役 田中光一  
設立：1969年6月（昭和44年）  
従業員数：105名  
資本金：4,000万円

#### 企業メッセージ

私たちは“日本のものづくり”を大切にしています。低コスト競争に加わるのではなく、日本ならではの高い技術、知識を活かした、お客様に「これが欲しかった」と思っただけの製品こそ、私たちが追い求めるものです。



代表取締役 田中光一

#### ■用語解説

EDI：商取引に関する情報を標準的な書式に統一して、企業間で電子的に交換する仕組み。  
CIM：製造情報、技術情報、管理情報といった生産現場で発生する各種情報をコンピュータシステムによって統括し、生産の効率化を推進すること。